

『カブトムシ里親まつり（飼育編）』を 開催しました！

7月21日（日）、箕面国有林において『カブトムシ里親まつり（飼育編）』を開催しました。このイベントはふれあい推進事業の一環として、NPOクワガタ探検隊と共催で実施しているもので、カブトムシの飼育を通して自然とのかかわりや命の大切さを学ぶことを目的として開催しており、今回は14家族38名の方が参加しました。

『カブトムシ里親まつり』は「飼育編」で、参加者はカブトムシのオスとメスのペアを持ち帰り、「放虫編」にて生まれた幼虫を昆虫ベッドに放すイベントで、自分たちで育てたカブトムシが次の世代につながっていく過程を体験してもらっています。

参加者はまず、クワガタ探検隊の方々が作成した創作紙芝居「なんでやねん！昆虫の王様」を見ながら、生き物についての知識を深めていました。次に、カブトムシのペアが配られ、子供たちはうれしそうな顔をしながら、自らの手でカブトムシを自分の飼育ケースに移していました。

最後に、花の谷周辺を探検し、カエルやトンボ、トカゲなど様々な生き物と触れ合い、楽しんでいただきました。

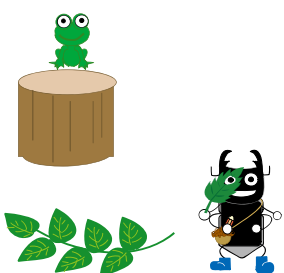
参加者からは、「カブトムシを育てるのが楽しみ」「自宅の近辺に自然が少ないので貴重な体験になりました」などの感想をいただきました。当イベントを通じて、生き物を育てることへの責任や、生き物を通して森の豊かさなどを学んでいただければうれしい限りです。



紙芝居の実演



カブトムシを迎える様子



近畿大学と連携した取組を実施しました ～ 『箕面 FOREST WALK IN 勝尾寺園地』 ～

夏の終わりが感じられる10月6日(日)、箕面国有林「勝尾寺園地」において、近畿大学が取り組んでいる「近畿大学中高大連携森林学習プロジェクト」のイベントを近畿大学と連携協定を結んでいる近畿中国森林管理局が後援として開催しました。

中高大連携森林学習プロジェクトとは、近畿大学農学部
の学生団体であり、中高生が森林について学ぶ機会を提供
することを目的として、幅広く森林環境教育を行っています。
イベント当日は、前日までの雨とはうって変わってフィールド
ワーク日和の天気となり、「森林散策」「クラフト体験」などに
応募のあった総勢38名が参加され、大規模なイベントとなり
ました。

「森林散策」では、学生があらかじめ調べていたポイントご
とに、植物の生態などをクイズ形式で出題しながら、動植物
の観察を行うなど、緑に囲まれながら自由に過ごす体験をし
ていただきました。「クラフト体験」では、大学キャンパス近く
で昨年から集めていた様々な自然素材(ドングリ、枝など)を
使って、参加者がそれぞれに創意工夫をこらした作品を大
事そうに持ち帰る姿を見ることができました。

一日という短い時間でしたが、様々な体験を行うことが
でき、森林の魅力を伝えるうえで、大学生ならではの行動力と
知識の豊富さを生かした良いイベントだと思いました。加
えて、大学生が自主的に森林環境教育に興味を持って活動し
ていることが、たのもしく感じました。

当センターでは、協定に基づく取組の一環として、今後も
近畿大学と連携して人材育成などに取り組んでいきます。

※林野庁近畿中国森林管理局と近畿大学は、調査研究や人
材育成等に関する連携協力協定を締結しています。詳しくは、
近畿中国森林管理局ホームページ掲載の令和元年10月21日
近畿中国森林管理局プレスリリースをご覧ください。



「森林散策」の様子



ハンモック体験



「クラフト体験」の様子



最後にひとこと

